

JavaScript 研修

WEB 業界向いている人

自分で問題解決できる人。

興味をもって自分で色々調べることができる人。

学習の目標：自分で JavaScript の勉強ができるようにすること

本を買うなら必ず後ろを見る。いつ刊行されたのか。できるだけ新しい本を買う。(1-2 年)

JavaScript の効果→ブラウザ上でもアプリみたいに使える。

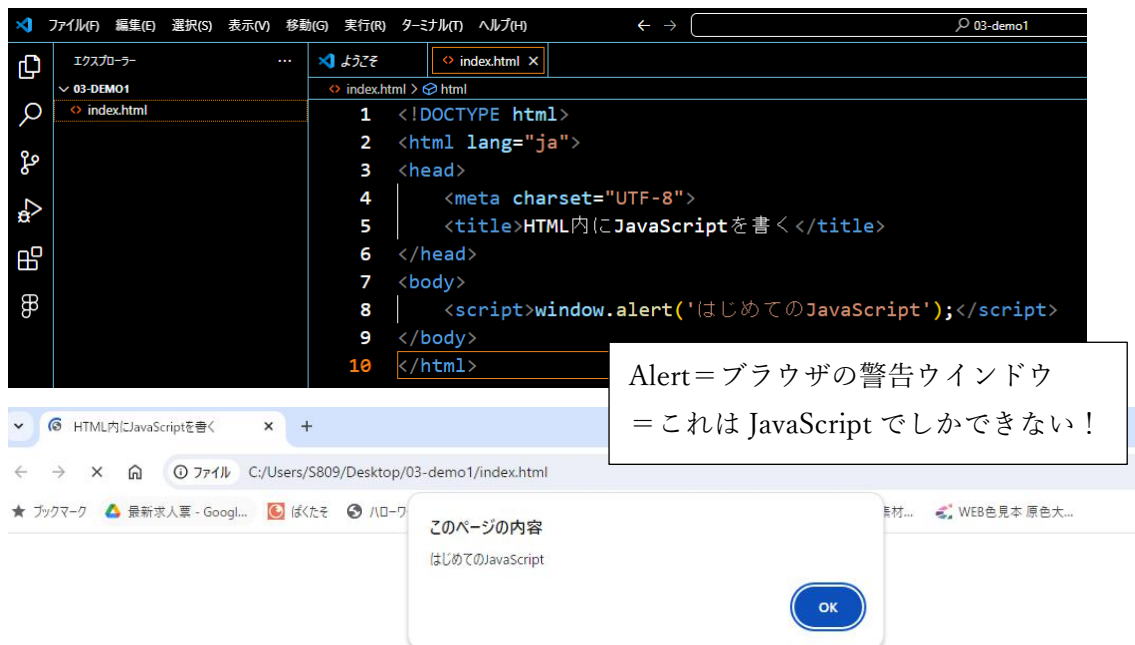
JavaScript と JAVA は違う！目的も書き方も違う！メロンとメロンパンぐらい違う！

JavaScript=JS

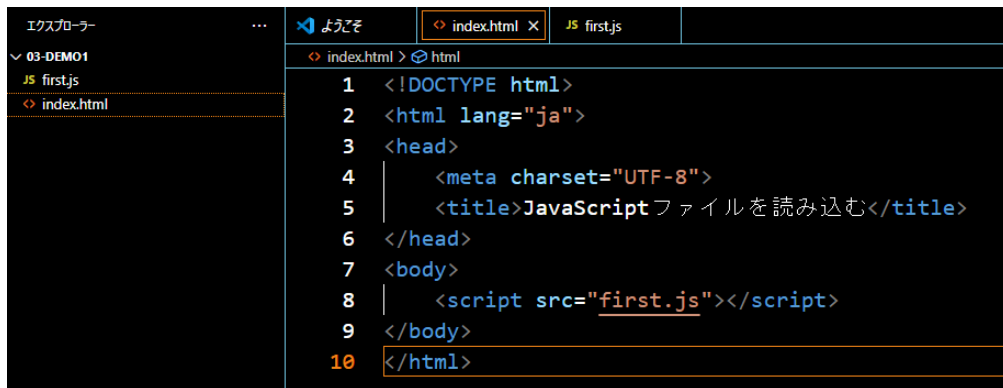
JavaScript の始め方

教科書 p 33- 参照

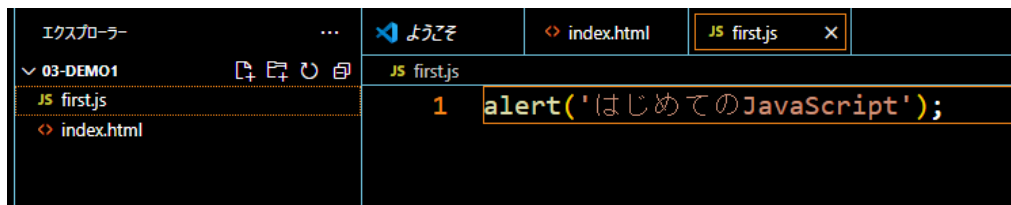
HTML に書く方法



JavaScript ファイルに作成する方法



```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <title>JavaScriptファイルを読み込む</title>
6 </head>
7 <body>
8   <script src="first.js"></script>
9 </body>
10 </html>
```

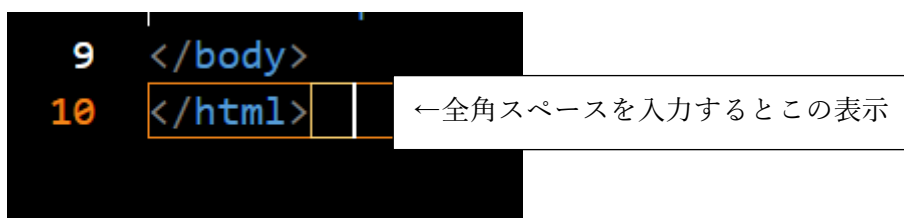


```
1 alert('はじめてのJavaScript');
```



p 39 指示の内容という項目をまずはおさえる

p 40

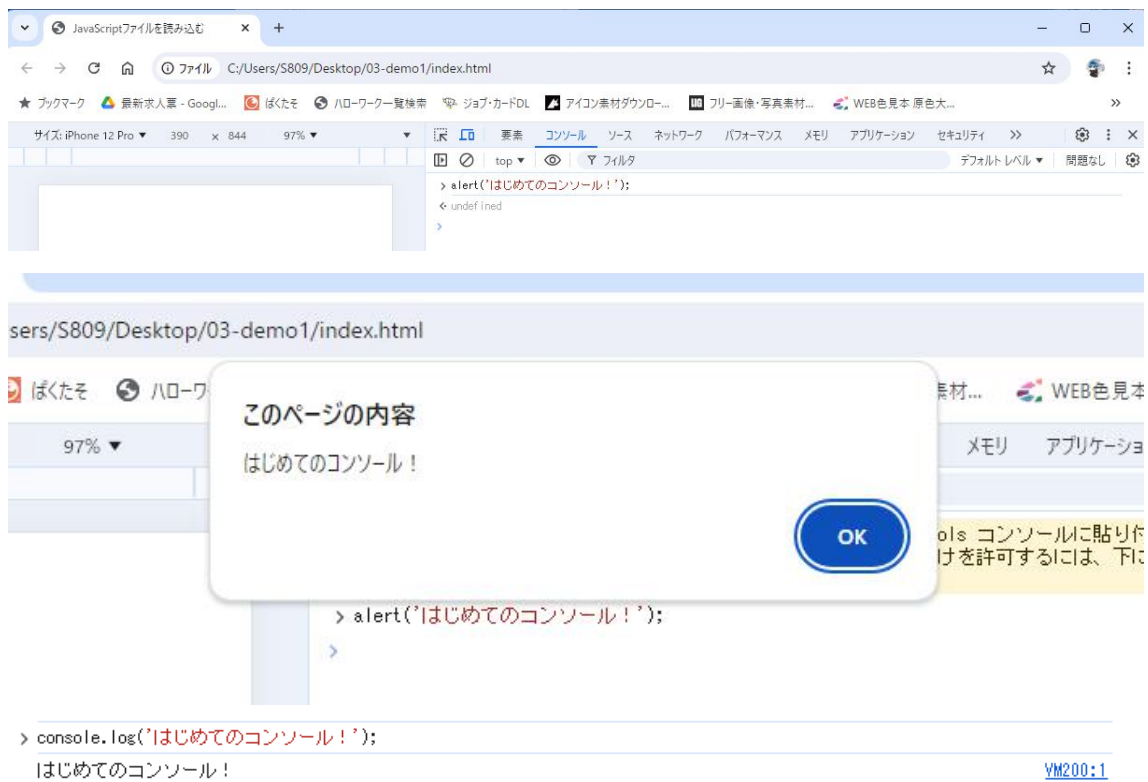


エスケープシーケンス

Mac→\‘

Windows→¥‘

令和6年8月26日



ファイルの書き換えはできない！

エラーメッセージが出てきたら、そのメッセージをコピーして検索→解決策がいっぱい出てくる

P48-90 本を読みながら各自で進める。

Point !

HTML に defer 属性を付ける！ p 54 参照

```
8 <script src="js/script.js" defer></script>
```

```
js > # script.js > ...
1 console.log(document.querySelector('#colorPicker').value);
2 document.querySelector('#colorText').textContent=`カラーコード:${document.querySelector('#colorPicker').value}`;
3 const text=document.querySelector('#colorText');
4 const color=document.querySelector('#colorPicker');
5 text.textContent=`カラーコード${color.value}`;
6 color.addEventListener('input',colorBg);
```

const=定数=ラベルのようなもの。

text と書いたらそれは document.querySelector('#colorText')を指す。

color と書いたらそれは document.querySelector('#colorPicker')を指す。

```
3 const text=document.querySelector('#colorText');
4 const color=document.querySelector('#colorPicker');
```

//何がどうなったらどうなるか=.addEventListener.

今回は色が input されたら、カラーコードを表示する

```
5 text.textContent=`カラーコード${color.value}`;
6 color.addEventListener('input',colorBg);
```

関数=動作をひとまとまりにする。ここでも const を使う。
const 関数名={()=>{関数名が呼び出されたときに何をするか}}

```
6 ~ const colorBg={()=>{  
7   text.textContent=`カラーコード${color.value}`;  
8 }}  
9  
10 //カラーピッカーが変更されたらcolorBgを発動させる  
11 color.addEventListener('input',colorBg);  
12
```



カラーピッカーを入力したら
(=色を選択したら)
colorBg 関数を発動させる
(=カラーコードをテキストで
表示する)

Point !

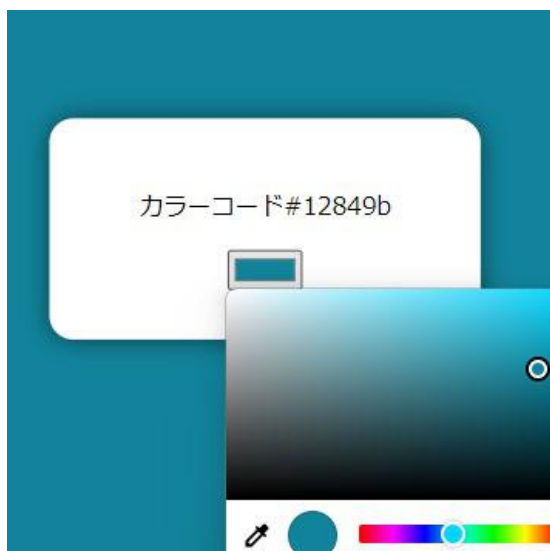
//はコメントアウト。

HTML の/! ---/や CSS の/**/のようなもの。

関数等は日本語で全部先にコメントを書いちゃう。

→そこからプログラムを書いていく。

```
6 //カラーピッカーを操作したときの一連の動作
7 const colorBg={()=>{
8 //選択した色を背景色に設定
9   document.body.style.backgroundColor=color.value;
10 }
11 //カラーコードを表示
12 |   text.textContent=`カラーコード${color.value}`;
13 }
14
15 //カラーピッカーが変更されたらcolorBgを発動させる
16 color.addEventListener('input',colorBg);
```



条件分岐

```
11 //カラーコードを表示
12 ~ if(color.value === '#ffffff'){
13   text.textContent=`カラーコード${color.value}(white)`;
14 }
15 }
```

カラーコード#ffffff(white)



白を選んだ時は(white)と書いて

```
10
11 //カラーコードを表示
12 if(color.value === '#ffffff'){
13   text.textContent=`カラーコード${color.value}(white)`;
14 }else if(color.value === '#000000'){
15   text.textContent=`カラーコード${color.value}(black)`;
16 }else{
17   text.textContent=`カラーコード${color.value}`;
18 }
19 }
```

カラーコード#000000(black)



カラーコード#4ac5de



黒選んだら (black) と表示、 白・黒以外の色を選んだらカラーコードを表示